

令和6年度第8回別府市人権教育学級 学習会及び閉級式

日 時： 令和7年 2月13日(木) 10:00～12:00

場 所： 別府市中央公民館 講座室

テーマ： 子どもと人権

演 題： 「子どもの思いからスタート～学校に行きづらさを感じている児童生徒とのかかわりを通して～」

講 師： 別府市教育相談センター 指導主事 山村 尚恵 氏

【講師プロフィール】

- ・別府市教育相談センターにていじめや不登校等の教育相談に携わる専門家
- ・「ふれあいルーム」での児童生徒支援、及び保護者面談による教育相談活動に従事
- ・構成的グループエンカウンター、またはソーシャルスキルトレーニング等の手法を活用した人間関係プログラムの学校支援

【講演内容】

- ・はじめに 短期間で行う「人間関係プログラム」について
- ・教育相談センター・「ふれあいルーム」について
- ・「ふれあいルーム」での支援について
- ・おわりに 「子どもの思いからスタート」とは

【閉級式】

- (1) 開会の言葉
- (2) 挨拶
 - ・別府市教育委員会 教育長 寺岡悌二
 - ・別府市 PTA 連合会 副会長 永田真一
- (3) 人権教育学級一年間のまとめ
- (4) 受講生代表の言葉
- (5) 閉式の言葉

【人権教育学級の様子】



< 寺岡教育長挨拶 >



< 講師 山村尚恵氏 >



< 講演の様子 >



< グループワークの様子 >

【参加者感想】

- 「子どもの思いからスタート」それこそが子どもの人権だと思いました。周囲が良かれと思ってすることが子どもの気持ちを尊重しているとは限らず、「生きづらい」「学校に通いづらい」等のそれぞれの悩みに寄り添い、少しでも子どもの思う方向に進めていけるのが理想だと思いました。
- 子どもの意思を大切にすることを改めて学びました。毎日の家事や仕事等できちんと子どもの話を聴けていないこともあるなあと感じ、反省しました。グループでの話し合いで、初対面ではありますが、育児等について話せたのもよい体験となりました。ありがとうございました。
- 今後子どもが成長していく上で、「学校に行きたくない」と言われたらどうしようと思っていましたが、ふれあいルームの話を聴いて、子どものペースに合わせて自立して活動できるようサポートしてくれていることを知り、不安が少しなくなりました。もっと子どものペースに合わせて話を聴くことが、自分にも大切だと思いました。
- 人間関係作りプログラムを体験してみて、初めての方とも楽しく話すことができ、子どもたちのコミュニケーションスキルを高める良い活動だと思いました。